

平成27年度 第1回介護保険運営協議会議事要旨

1. 会議の期日及び場所

- (1) 平成27年8月3日(月)
- (2) 市役所7階全員協議会室

2. 出席委員

20人

3. 会長、副会長の選出

委員の互選により、米林会長、石田副会長を選出

4. 報告事項

(1) 介護保険の実施状況について(資料1) …… 介護保険課から説明

(2) 地域密着型サービス事業者等の指定状況について(資料2) …… 介護保険課から説明

(会長)

事務局から説明のあった件に関して、ご質問があればお願いします。

(委員)

ざっくりとした現状の説明があったが、一般的な傾向としてひとくくりに言うかどうかという状況なのか。一つ一つの説明はあったが、大づかみに言うと金沢市の介護保険の運用状況、お年寄りの利用状況、施設のみなさんの様子、一番気になったのが人材確保、特に施設における人材確保はどうなっているのか。特に説明がなかったようだが、このあたりのことについて大づかみに言うかどうか聞かせていただきたい。

(事務局)

本市における介護保険全体の状況は、先程利用者についての説明をしたが、利用者はどんどん増えている。それに伴い介護給付費もどんどん増えているというのが、まず大きな状況である。

従前においては居宅のサービス、施設のサービスのみであった。この15年の間に、今から9年前に地域密着型サービスが創設されたが、こちらが充実してきている。このような方向を受けて、どちらかというとし施設重視であったのが、在宅化しているというのが大きな流れであると捉えている。

従事者の件は先程の説明の中にはなかったが、今回と前回の報酬改定の中で介護職員処遇改善加算制度が導入されている。本市においても、事業者が報酬を上げることによって職員の給料に転換するという加算の申請が約9割行われており、良いふうに進んでいると思っている。

保険者としてこのようなことばかりではなく、今年度からケアワーカーカフェというものを

実施しているが、なかなか浸透していない状況である。事業所の職員に気軽に集ってもらい、いろんな情報交換や、それぞれの方が施設で孤立しないような環境をつくって定着を図っている。

大きな従事者の拡大策は県等でこれから実施されていくところであるが、保険者としてもできるところから始めていくといった状況である。

(会長)

他にないようなので、次に報告事項の3「長寿安心プラン2015の概要について」と4の「長寿安心プラン地域説明会」開催概要について」事務局から説明をお願いします。

(3) 長寿安心プラン2015の概要について(資料3) …… 介護保険課から説明

(4) 「長寿安心プラン地域説明会」開催概要について(資料4) …… 介護保険課から説明

(会長)

ただいま事務局から説明のあった件に関して、ご質問があればお願いします。

(委員)

ケアワーカーカフェについて簡単に補足させていただく。先程の説明にもあったが、介護職員の離職防止ということで金沢市が金沢市社会福祉協議会と連携し、運営については介護福祉士会に相談があり、主に石川県の介護福祉士会、特に金沢支部のメンバーがケアワーカーカフェに関わっている。年間41～42回行う予定で、今まで8～9回開催した。最初は参加人数が少なかったが、今ではリピーターもいる。主な内容は情報交換であり、自分たちが行っているケアの仕方が正しいのか正しくないのか、職場内における人間関係の問題等について話している。基本的には金沢市社会福祉協議会のある松ヶ枝福祉館で開催しているが、他にも市内19箇所にある地域包括支援センターの圏域の公民館等を利用して昼と夜の2部構成で実施している。

(会長)

金沢市社会福祉協議会も協力しており、ホームページなどで宣伝している。

他にはないか。

(委員)

認知症カフェについても補足させていただく。今は野町の第一善隣館と認知症の人と家族の会が寺院で行っているが、それ以外に金沢市として市内3箇所の地域包括支援センターを中心に認知症カフェが開催される予定で、今月から開催される。ふくひさエリアは、総合病院内の食堂を利用して25日に開催する。

(会長)

他にないようなので、次に報告事項の5「金沢市における在宅医療と介護サービスに係る連

携の推進について」事務局から説明をお願いします。

(5) 金沢市における在宅医療と介護サービスに係る連携の推進について（資料5）

… 介護保険課から説明

(会長)

ただいま事務局から説明のあった件に関して、ご質問があればお願いします。

(委員)

在宅医療と介護サービスの連携はすごく大事なことであるが、医師会の医師を中心に同じような取り組みを何年前から行っていたと思う。金沢市在宅医療・介護連携推進協議会の委員や作業部会委員の中にも、金沢市内で既に同じような活動をしている団体の方が多い。既に動いている同じようなことをしているグループと金沢市が主になって旗をふっていくものがまったく別に動いても仕方ないと思うが、どのように調整していく予定なのか、そこも含めて今から考えていくのかということについて聞かせていただきたい。

(事務局)

ご指摘どおり、既に市内に3箇所の在宅医療・介護連携のグループがある。主に研修や住民の方への在宅医療の周知・啓発を中心に行っている。市としては従来からそれらのグループがしてきた仕事を十分尊重しながら、それをさらに発展させていくという形で協議会を通じて検討していきたいと思っている。最終的には研修の成果として、在宅医療と介護連携の何らかの困りごとがあるような場合の相談窓口を設けることまで視野に入れて検討を進めていきたいと考えている。

(委員)

要望であるが、金沢市在宅医療・介護連携推進協議会の委員と作業部会委員のメンバーを見ていると医療系の方が多い。医療と介護の連携になるので、医療に偏らないように注意して運営していただきたい。

(事務局)

ご指摘のとおり、今回は医療系の方に多く入っていただいている。市の段階で過去、医療行政の法的な部分の会議は薄いものがあつた。今後、在宅医療と介護連携を進めていくためには、特に医療の現状がどうなっているのかということをも市としても詳細に把握する必要があるため、最初の段階では医療系の方に多く参画していただいているという現状である。決して医療系の方の話ばかりを聞くということではなく、バランスはしっかり検討して対応していきたい。

(委員)

医療と介護の連携ということで医療と介護が複雑に分かれるような印象があるかもしれないが、実は医療の中でも医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会等それぞれの連携がまだとれていない状態であると思う。医療と介護の連携も大事だが、医療の中での連携や介護の中で

のケアマネジャー、ヘルパー、介護福祉士等のそれぞれの専門職どうしの連携も併せて考えていただきたい。

(事務局)

ご指摘のとおり、先だつての7月28日に開催した金沢市在宅医療・介護連携推進協議会でも病院の規模、例えば急性期の病院、それ以降の中規模の病院、それぞれによって在宅医療に対する思いが異なる。例えば診療所の医師からは、退院してくる患者の情報が十分にかかりつけ医の所に届かない等の様々な意見をいただいている。今後、医師会の皆様と協議しながら職種ごとの連携も積極的に対応していきたいと考えている。

(会長)

報告事項は以上であるので、続いて議事に移る。議事の1「介護保険運営協議会専門部会の再編について」事務局から説明をお願いします。

5. 議事

(1) 介護保険運営協議会専門部会の再編について (資料6) …… 介護保険課から説明

(会長)

ただいま事務局から説明のあった件に関して、ご質問があればお願いします。

(委員)

(意見、質問なし)

(会長)

特に異議がないようであれば、事務局提案のとおり専門部会を再編することとしてよろしいか。

(委員)

異議なし。

(会長)

ご承認いただき感謝申し上げます。次に議事の2「専門部会への割振り案について」と議事の3「今後のスケジュールについて」事務局から説明をお願いします。

(2) 専門部会への割振り案について …… 介護保険課から説明

(3) 今後のスケジュールについて (資料7) …… 介護保険課から説明

(会長)

今ほど事務局から各委員の専門部会への事務局案の説明があったが、ご質問があればお願い

する。

(委員)

(意見、質問なし)

(会長)

それでは、委員各位においては、ご多忙とは思うが、部会の変更等のご要望があれば、8月7日(金)までに事務局に連絡をお願いする。各部会には定員が定められているので、最終的な委員の部会への割振りは、私と事務局とで調整し、決定させていただく。

また、今後のスケジュールについては、事務局から説明のあったとおりとしたいと思う。みなさん、よろしいか。

(委員)

異議なし。

(会長)

それでは他にないようなので、以上をもって、本日の会議を閉会とさせていただく。長時間にわたり議論いただき、感謝申し上げます。